

西区 東青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：広域連合「自主防災会」の設立

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当地域は、信濃川と西川の流域に近接しておりまた低地であり、津波・水害の深刻な被害が想定されることの認識を持っている。

しかし自治会単位の自主防災会の設立数が少なく、事情によっては設立ができない所もある。コミ協内の広域連合的な自主防災会設立の必要性の声が大きくなった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

自治会全部の賛同による「連合自主防災会」を設立する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

コミ協役員会や、コミ協自治会長連絡会等の場で、随時議題として載せ、その必要性とあり方の議論を積み重ねた。

H26.4.25コミ協総会において設立の提案をし、全会一致決議した。

H26.6.5広報紙（コミ協だより）に掲載し、広く全世帯に配布・周知した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

東青山小学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

多発する自然災害に迅速・機動的に組織的な対応がとれる。

さっそく、H26.7.9に新潟市より当地区の一部に「がけ崩れ避難情報」が発令された事に関し、組織的な対応を行った。（①現場の状況確認、地域住民へヒアリング・信濃川、西川の河川状況の確認・小学校に避難所が開設され運営支援。）

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

万一の場合、各自治会では自治会内の対応で手一杯の状況となる。この連合組織をどう機能させるか？組織と要員配置をどうするか？という点。

役員配置はコミ協の役員を中心とした。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

当地区の災害避難マップの発行（西区役所と協働作業）および全世帯配布とその説明会。

地域合同避難訓練（児童を含む）の実施。

防災器材・用品の置場の確保（小学校内に決定）と備蓄・管理。

日常的に啓蒙活動を実施。

西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：震度6強の地震についての実体験に触れる事による啓発活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

巷間では津波が話題の主体をなし、なお当方の砂丘地帯では新潟地震での記憶で安全神話になっている。当地区の災害の想定第一は地震である。現行の想定震度は6強であるがその実態については中々理解できていない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

実際のその強度の地震災害に遭遇した人に話を聞いて質疑応答の中で理解を深める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

付近では柏崎市が中越沖地震で6強の地震に遭遇し、地形、地質も当コミ協に類似しておるため訪問して話を聞くことを計画した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

他のコミ協にも呼びかけて参加して頂いた。

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

実際に被災の状況、体験を生の話として聞かせて頂き、質疑の中で理解できたのは大きなインパクトになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

実際の地震振動の強烈さを住民全員に伝える努力を防災部員を通じて行い、今後の防災に生かして行きたい。



西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災講演会

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

東日本大震災を機会に、地震発生後の津波の河川遡上による堤防決壊、家屋浸水、人命の安全確保の対応をどうすべきか。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地震による津波の河川遡上の危険性と破壊力を講習会等の開催により、周知と理解を図ることとした。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

講演会、セミナーの開催を行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西区役所担当課 小学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地震による津波と河川遡上の恐ろしさを講演会により理解された。
避難場所の周知、日常の防災意識の向上が図られた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加人数の把握と会場予約の調整に苦労した。（西新潟市民会館は年初より予約多し）

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

定期的な防災講演会、セミナーの開催を行う。
合同防災訓練を随時開催し、訓練の重要性を身体で憶えてもらう訓練を行う。

西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：見守り活動について体制検討

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

見守りの対象者が増大しておることは概念として知りえているが実態を明示してその取り組みを検討する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

対象者と思われる人の実態調査をしてそれを見ての解決策の検討。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

対象者を階層別に表わし、その居住状況と合わせて各自治会に調査をして頂きその結果を図上に表現する。

現況の見守り体制の調査を踏まえて、調査結果に基づいて見守りの方法を検討する。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

対象者の現状が図上に表示される事により視覚に訴える事が出来て現状の認識に効果をもたらし、真剣に検討する雰囲気生まれ、コミ協を中心に関係者の懇談会を繰り返して素案をまとめることが出来た。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

各自治会に賛同を得る説得と個人情報に関する取り扱いに関して。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

取り組みの素案を基に各自治会で検討を進めて実施に進められるように支援、応援を行う。

西区 山田校区ふれあい協議会

活動名：地域芸能保存事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域にある芸能（黒埼よいとこ・新潟甚句）など、子どもたちが接する機会が少なく、忘れさられようとしている。郷土芸能として、定着させていかなければならないと考える。
また、地域の交流の機会も少なくなっている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

伝統芸能を子どもたちが体験すること。
地域の方々との交流の場を増やし、子どもの集団作り・保護者の交流の機会とする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

6月から練習会開始

8月11日 新潟祭り 出演 8月18日 黒埼祭り 出演 8月24日 山田こども夏祭り 出演
10月27日 西区アートフェスティバルに出演

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

子どもや大人の交流の機会が増えた。山田小学校の生徒約40名が参加できた。
祭り行事に参加することで、達成感を味わうことができた。
伝統芸能の保存に協力する地域の力になった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

指導者の選任、練習会場の設定、練習や行事参加時の見守りの方々の依頼。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後も伝統芸能の保存は続けていき、保護者のつながりを強めていきたいと思います。

西区 西内野コミュニティ協議会

活動名：にしうちの盆おどり大会

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

西内野地域の親睦と融和を深め、地域コミュニティのさらなる活性化。
次世代の人材育成。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

たくさんの地域住民が楽しく参加できるように、みんなで力を合わせて行う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

実行委員会をコミ協で立ち上げ、青少年文化スポーツ振興部が中心となり実行。夜店も地域の店舗や各自治会、PTAが出店、安価で提供。踊りも事前練習を開催し、踊りの参加者啓発につなげた。また、新潟市国際課と連携しながら、新潟大学の留学生も日本の文化の体験と地域の交流を目的に40名参加した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市社会福祉協議会 新潟市国際課

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

毎年参加者が増え、今年は約1,200人であった。踊りの団体参加には、自治会や老人クラブを中心とした団体、中学生の男子、小学校のクラブ、幼稚園の団体など幅広い年齢層が参加した。地域の夜店も大盛況で、どこも列ができた。大会を通して地域の親睦が深まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

ポスター、チラシ、回覧板、うちわを自主作成し、配布。当日も滞りなく活動できるよう保険の加入、開催場所の地域へのあいさつなどを行った。当日、本部には看護師を配置、不測の事態に備えた。屋外で開催するため、天候に左右されるところが苦労している。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今年で25回目の開催となった。今後も工夫をしながら、住民みんなで継続していきたい。



西区 コミュニティ佐潟

活動名：ソフトボール大会

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

過去、同地域内では、地区対抗運動会や駅伝大会を実施していたが、世代交代と共に参加者が減少し、中止に追い込まれた。スポーツを通じた地域間交流がなくなってしまった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

スポーツを通じ、世代を超えて地域住民が集まり、コミュニティ佐潟地区内での交流と親睦を図るため。まずやってみよう！

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

7月上旬より、主なコミュニティ施設等にチラシを掲示、管内自治会の協力により、回覧配布にて参加チームを集う。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟国際情報大学（グラウンド借用、用具の無償貸し出し）

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域内コミュニティでの初めてのスポーツイベント開催であったが、想定以上に参加者も集まり、世代を超えて皆さん和気あいあいと楽しんでいた。珍プレー好プレーの連続で、スポーツを通して地域の方々との交流を楽しんでいた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

野球用具の不足が懸念されたが、情報大学のご好意により倉庫にあった用具類を全て無償で貸出しいただき、地域内イベント協力を快く対応していただいた。
各地域とも、チーム編成に苦慮したようだ。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

時期的に様々なイベントが重なる時で、各チームが出場しやすい日程を組む。

自治会以外でも、早起き野球等、現役の方も結構いらっしゃった。早めに計画し周知していく事が先決である。

西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：ふれあい広場「プレイゾーン」

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

子育て・教育、地域交流・世代間の交流

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

真砂小学校を中心に、児童、保護者、教職員、未就学児、卒業生、地元地域の方々等の交流。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

真砂小学校文化祭の「PTAふれあい広場」に参加し、昔～今のさまざまな遊びの場を共有した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

ベーゴマ、はねつき、お手玉、おはじき等昔の遊びを多く取り入れたことによって多くの世代交流がみられた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

予算増を図り、ブーメラン、万華鏡作成等ちょっとした工作で出来る遊具を用意する事が出来、親子を中心に多くの未就学児や低学年児童が楽しめる場を提供する事が出来た。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

子供たちがあつという間に昔の遊びに馴染んでいた。昔の遊びは大人も子供も一緒に出来るものが多く、今後も継続する事によって、保護者、教職員、地域の方々の交流が深まって行く事が期待される。



西区 黒埼南ふれあい協議会

活動名：黒埼南ふれあいオアシス事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当地域は米と枝豆が主な農産物で、大家族単位で営む農村集落でしたが時代の変化と共に高齢化と晩婚化が進み、若者の担い手不足が深刻化してきたので農業を継ぐ若者達に交流の場を提供し、以前の賑わいが少しでも戻って来ることを期待し地域の絆づくりと活性化の手助けになればと願い企画しました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

米価の低価格等で農業所得が目減りする中でも安心・安全な農産物を消費者に届けている努力と新潟市の銘産品に指定されている黒鳥産枝豆の美味しさを多くの方にとって頂く事を目標に枝豆の作付けから収穫までを体験し農業の面白さや奥深さを体感して頂くと共に後継者にパートナーを探し求めている婚活の場を提供していく。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

ご近所・お茶の間広場 枝豆の里で作る幻の肴豆作付け体験 豆婚会活動
黒埼南わくわくフェスタ（子供達のソーメン流し） 黒鳥ふれあい農業まつり
サツマイモ収穫体験

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

黒埼地区公民館 黒埼南小学校 黒鳥自治会 黒埼商工会 西区農業委員会

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

枝豆の作付け体験やサツマイモ掘体験など農作業一部を都市部消費者が体験した事により当地域の安心安全で美味しい農産物を理解してもらった事や活動によって今まで話したこともなかった多くの老若男女の人達が互いに交流することができましたので地域の賑わいが少しは深まったと感じています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

屋外作業を原則とする農産物は天候に左右される点が多々あるので日々の気象情報の確認をし、晴れる予想では熱中症を心配し、雨の予想では圃場に入れるか等大変でしたが大盛況で良かった。また、継続して実施している農業まつりは多くの方が来場して大変でしたが、黒埼南部公民館やまちづくりセンターの周知に貢献できたと思っている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域の活性化に貢献している活動と思っているが農産物の販路拡大や婚活の結果など今後も活動を継続していくには多くの課題があるのでスタッフ一同は新たな知恵と工夫を施し次回に結びつけて行きたいと思っています。

枝豆の定植作業



子供会縁日でファイアーショー



サツマイモ畑の草取り作業



農業祭での枝豆早もぎ競争



ソーメン流し楽しかった



オアシス事業 収穫体験



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：広報活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

会員（構成団体代表）及び地域住民にコミュニティ活動の理解と協力を得るため。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

広報誌の発行を増やす。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

大道、年間の広報誌以外に、かわら版を年間4回発行することにした。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

なし

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

活動内容や情報の提供によって理解度が高まってきたこと、事業への参加者が増えたこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

資料の提供及び回収に苦労したが、専門部等に呼びかけ協力を得たこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度も同様にかわら版を発行し、活動の理解と参加を呼びかける。